### 金沢美術工芸大学 美術工芸研究所

美術工芸研究所は1972年に金沢美術工芸大学の附置機関として設置され、内外の美術工芸に関する学際的研究、工芸の継承・育成、地域の文化発展への助言・協力、美術工芸資料の収集、保存管理、調査研究、展示、教育活動に関する事業を行っています。

2017年4月、同研究所が管理する所蔵作品や「平成の百工 比照」収集作成事業の成果を広く社会に発信するため、図書館 棟2階にギャラリーを開設しました。

#### 主な所蔵作品 ==

所蔵作品は、本学ゆかりの作家たちの作品や世界的に著名な芸術家の 傑作を含め、絵画、彫刻、工芸、デザイン、その他関連資料など約5000点に のぼります。本学の教育研究用資料として、また、優れた芸術作品に 接する機会を市民に提供するために収集されたものです。

絵画 高光一也、宮本三郎、鴨居玲、藤森兼明、西山英雄など

版画 フランシスコ・ゴヤ、アブラアム・ボス、釣谷幸輝など

彫刻 アントワーヌ・ブルーデル、オーギュスト・ロダン、清水九兵衛など

工芸 高村豊周、木村雨山、小松芳光、富本憲吉、中川衛、マイセンなど 写真 アンセル・アダムス、イモージン・カニンハム、原直久など

デザイン 柳宗理、大智浩など

#### 北出コレクション

約200点におよぶ古九谷や国内外の陶磁器コレクション

#### 水野家資料

加賀藩に白銀師として仕えた水野源六家にまつわる金工資料

#### 高屋肖哲資料

狩野芳崖の弟子である高屋肖哲の下絵や粉本などの資料

#### 服部コレクション

羽咋市出身の服部敏治氏から寄贈されたマイセン磁器

#### 益田祐作コレクション

リトグラフ工房とギャラリー関連の作品や諸資料

○ご利用案内

開室時間 月~金曜日 10時~17時

土曜日 10時~15時

休室日 日曜日、祝祭日、夏季/冬季休業期間、年末年始、

入学試験期間など

入場無料

場所 金沢美術工芸大学 図書館棟2階

問合せ 平日 076-262-3519 (美術工芸研究所)

土日祝祭日 076-262-3531 (代表)

#### ○交通案内

学内の駐車スペースが少ないため、できるだけ公共交通機関を ご利用くださいますようお願いいたします。

#### [バス(北鉄バス)]

JR金沢駅バスターミナルからご乗車いただき小立野バス停下車 (乗車約25分、下車徒歩約8分)

- 金沢駅東口バスターミナル3番のりば:(11)、(12)、(16)
- 金沢駅東口バスターミナル6番のりば: (13)、(14)
- 金沢駅西口バスターミナル5番のりば:(10)

#### 「タクシー】



金沢美術工芸大学 美術工芸研究所ギャラリー

〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号

TEL 076-262-3531(代表) FAX 076-262-6594

Email bikoken3@kanazawa-bidai.ac.jp URL http://www.kanazawa-bidai.ac.jp 金沢美術工芸大学 美術工芸研究所ギャラリー

RESEARCH INSTITUTE OF ART & DESIGN GALLERY
KANAZAWA COLLEGE OF ART

# **CALENDAR**

2018-2019 展覧会スケジョ

コレクション展示コーナー 平成の百工比照 展示・閲覧コーナー

> 金沢美術工芸大学 KANAZAWA COLLEGE OF ART

本学が所蔵する美術、工芸、デザインに関する作品や資料約5,000点を特別 展や企画展を通じてさまざまな切り口でご紹介していきます。

「展覧会スケジュール」 ==

2018年4月10日(火)~6月30日(土)

### 新入生歓迎企画展 「美専開校

#### ~金沢美大ができたころ~ |

本学の誕生は1946年11月7日金沢美術工 芸専門学校の開校にさかのぼります。本 展では、その草創期を中心に所蔵コレク ションでご紹介します。



竹沢基「森田亀之助像」1948年

2018年7月6日(金)~8月31日(金)

特別展

「卒業・修了制作 買上作品セレクション2018」

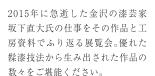
卒業・修了制作で買い上げとなった優秀作品

から、近年の作品を中心にご紹介します。

2018年10月26日(金)~12月22日(土)

「坂下直大 回顧展 (仮称)

中田日菜子「蛇 | 2018年





坂下直大 漆皮盛器「極光」 2006年

2019年1月18日(金)~2月28日(木)

「工芸継承 - 東北発、日本 インダストリアルデザイン の原点と現在」



4色の組み合わせ宝石箱 1955年頃 東北歴史博物館蔵

1928年、工芸の近代化と産業化をめざし国立工芸指導所が宮城県仙台市に設 置されました。日本のインダストリアルデザインの出発点となった指導所ゆ かりの工芸試作品から、工芸が歩んできた道のりをご紹介します。

上記以外の期間中は平常展を開催します。

## 平成の百工比照 展示・閲覧コーナー

~全国の産地から収集した現代工芸資料の一大標本~

金工、染織、漆工、陶磁の分野ごとに、技法、工程、材料に関わる見本や道具 類、完成した製品など約5600点が収蔵箱に納められており、お好きな資料 を棚から自由に取り出してご覧いただけます。また、工芸技法を超高精細 の4K画質で記録した映像もお楽しみいただけます。

#### ○陶磁(2300点)



- 各種釉薬の色見本
- 九谷焼描画彩色技法見本
- · 大堀相馬焼(福島)、丹波焼(兵 庫)、萩焼(山口)、高取焼(福岡)、 壺屋焼(沖縄)ほか全国28産地の 製品見本

#### ○金工(1600点)

- ・重ね象嵌、杢目金、真土型等各種 工程見本
- ・ 銅合金着色、セラミック電着塗装 ほか各種着色見本
- 南部鉄器(岩手)、燕三条(新潟)、 高岡銅器(富山)ほか各産地の製 品見本



# ○染織(600点)

· 粉見本 · 道具見本

○漆工(1100点)

・ 津軽こぎん(青森)、ぜんまい白鳥 織(秋田)、能登上布・手描友禅 (石川)、琉球びんがた(沖縄)ほか 全国40以上の産地の製品見本や 工程見本

会津塗(福島)、輪島塗・山中

漆器(沖縄)ほか技法・工程見本

・津軽塗(青森)から琉球漆器

(沖縄)の全国18産地の製品見本

漆器(石川)、香川漆器(香川)、琉球

· 伊勢型紙(三重)見本



photo: Mitsu Tsutomu

\*都合により変更の可能性がございます。

○:10 時~17 時 △:10 時~15 時

